

## PPAモデルを活用した太陽光発電システムの導入拡大 ～カーボンニュートラルの推進に向けた再生可能エネルギーの活用～

株式会社不二越(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員:黒澤 勉、以下「当社」と日本海ガス絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長:土屋 誠、以下「日本海ガス」)は、太陽光発電システムPPAモデル(第三者所有モデル)を活用し、当社富山事業所にて太陽光発電システム381.80kWを増設しましたことを下記のとおりお知らせいたします。

当社はカーボンニュートラルに向け、2022年よりPPAモデルを活用した太陽光発電システム導入を進めています。当社は再生可能エネルギー電力を製造設備等にて自家消費することで、製造におけるCO<sub>2</sub>排出量を削減します。日本海ガスは当社富山事業所内に太陽光発電システムを設置し、発電した電力を当社へ供給します。


この度の増設により、当社富山事業所での太陽光発電システムは895.18kWとなりました。これにより、合計で年間約480tのCO<sub>2</sub>排出量削減\*が見込まれます。

当社は、今後とも再生可能エネルギーの導入・普及などを通じ、気候変動への対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

\*CO<sub>2</sub>排出削減想定量は、「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック」(環境省 地球環境局発行)に基づき算出

### 記

#### 導入設備概要:

設置機器	自家消費型太陽光発電システム ロボット第3工場 513.38kW 2022年7月1日 稼働開始 ロボット第2工場 381.80kW 2024年2月2日 稼働開始 遠隔監視・計測システム 非常用コンセント
設置場所	株式会社不二越 富山事業所 富山県富山市不二越本町1丁目1番1号
導入目的	① カーボンニュートラル実現に向けた取り組み ② 再生可能エネルギーの地産地消(自家消費モデル) ③ 環境関連法規への対応(省エネルギー法、工場立地法) ④ 停電時の緊急電源としての活用(レジリエンスの強化) 



自家消費型太陽光発電システム(富山事業所 ロボット第2工場)

■PPAモデル(第三者所有モデル):

電力使用者(当社)が敷地や屋根などのスペースを提供し、太陽光発電設備の所有・管理を行うPPA事業者(日本海ガス)が発電システムを設置して、そこで発電された電力を電力使用者へ供給する契約形態です。

■本件に関する問い合わせ

株式会社 不二越  
TQC・TPM 推進本部 エネルギー課 喜内  
TEL:076-423-6523